

概要

◆電気設備工事会社 業務分析及び業務改革（IT化構想）策定

【企業データ】

事業内容：総合電気設備の設計・施工

（水力発電所・変電所・火力・原子力・通信設備・配電線・屋内配線・その他工事）

事業所数：3事業所

社員数：約100名

【経緯】

社内のパソコンにセキュリティ対策がなされてなく、セキュリティ対策を行う事になった。その際に将来を踏まえた、社内のシステムがどうあるべきかを検討することとなった。

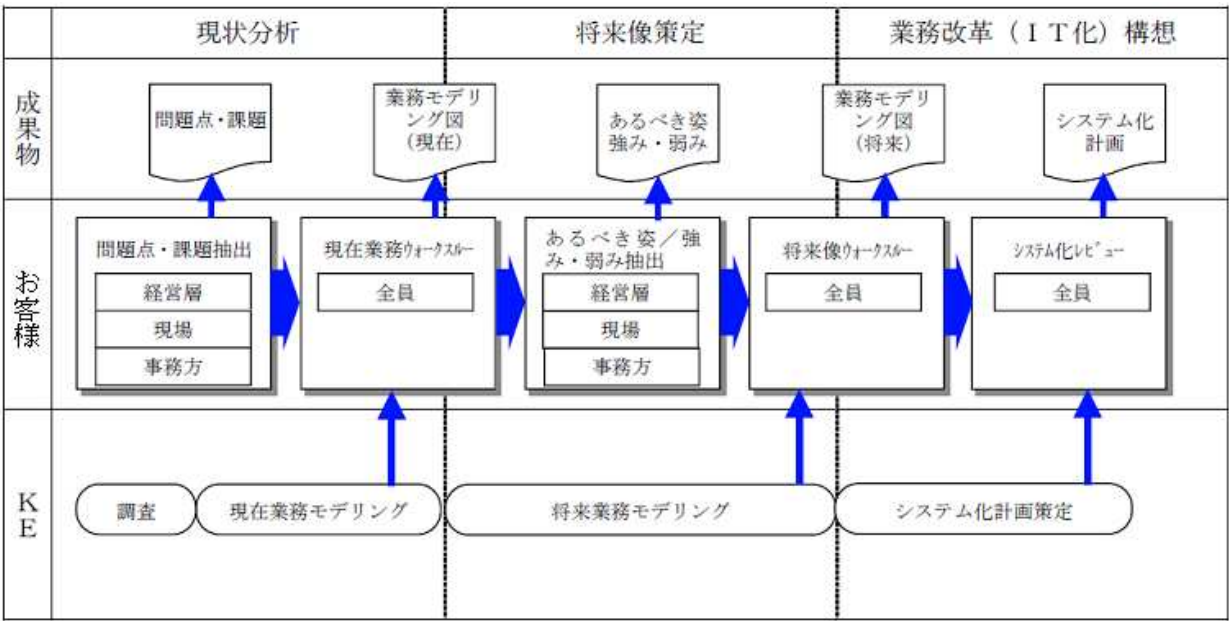
【検討内容】

社内のシステム化は、労務管理、経理、給与計算、固定資産及びグループウェアと一部の資材管理にパッケージが導入されてはいるものの、全体的に殆どシステム化はなされていない。そこで将来的にシステムはどうあるべきかという検討を、現状の業務課題の洗い出しと共に行った。

期間：約3ヶ月

費用：3,000,000円

【検討アプローチ】

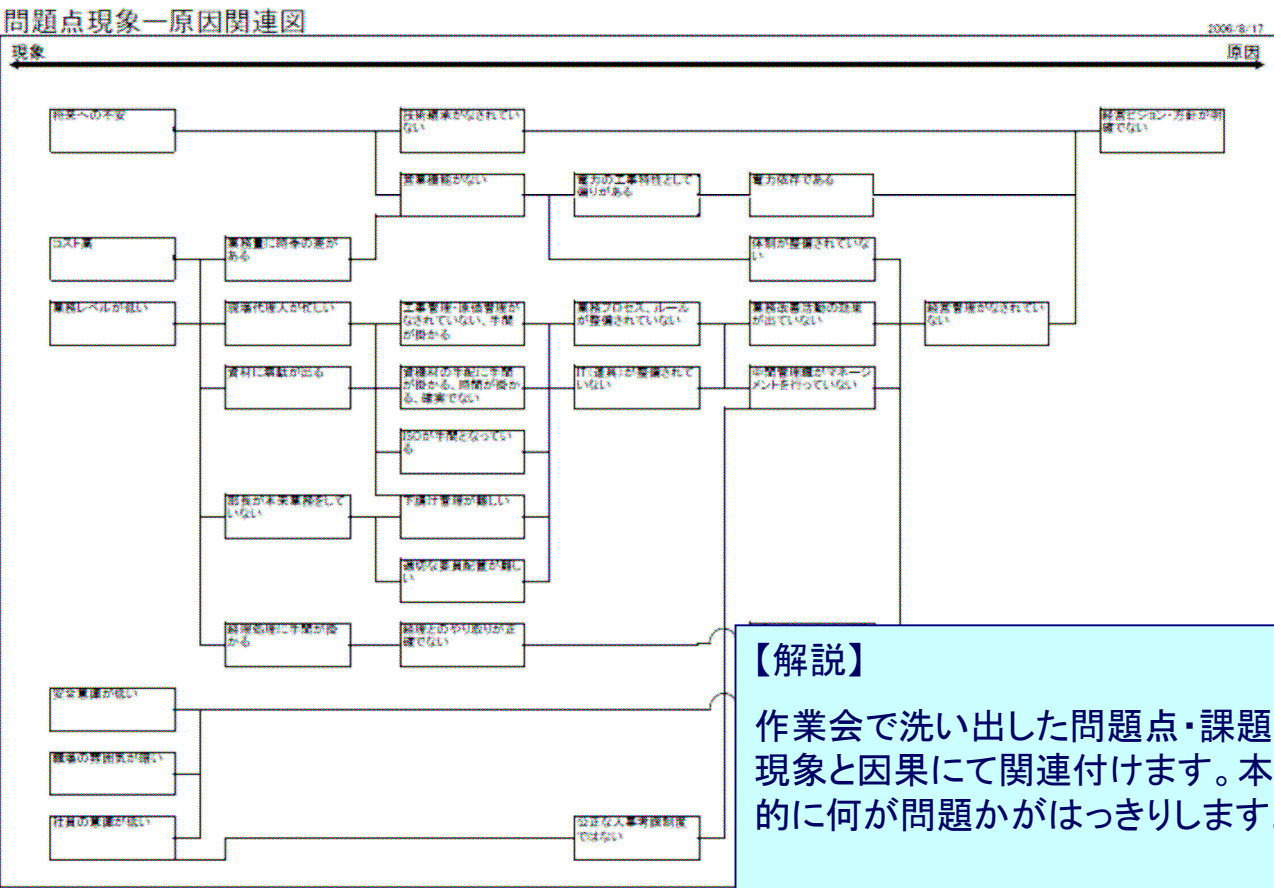


アウトプット(例)

◆作業会結果（問題点課題）



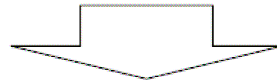
◆問題点現象－原因関連図



◆作業会結果（業務改革テーマ）

【背景】

主要顧客である九州電力が、設備の建設から維持メンテの時代へと移行している。その為、今後工事量は減少することが予想され、今までの様に「工事をこなす」だけが主体の仕事では先行きが厳しい。幸いにも現在は技術においてお客様から高い信頼を頂いており、安定した仕事を頂いている。しかしながら、今後も高い顧客満足度を継続するためにも、付加価値の高いビジネスへと移行する必要がある



【業務改革テーマ】

「電気設備のソリューション企業へ」

－電気設備の計画・設計・建設・保全・運用まで－

- ・ 電気設備のシンクタンク
- ・ IT武装工事のパイオニア
- ・ 事業体に応じた管理の実現
- ・ 間接業務の低コスト高付加
- ・ 安全安心の徹底

【解説】

作業会の結果、業務モデリングを基に業務改革のテーマを提示します。

◆業務改革に向けた検討課題

業務改革に向けた検討課題

2006/9/27

視点	問題	目指すべき姿	検討課題	施策案
マネジメント	○ビジョン(事業領域/方向性)が不明確である ○経営管理が出来ていない ・経営手法が先進的である ・方向性に基づく事業計画がたてられていない ・中間管理職のマネジメント力が弱い ・企業存続の危機管理が見えない ・管理職が安全管理に携わっていない ○年間の工事量の変動が激しい。緊急対応が必要 ○改善活動(ISO/TPM)の効果がでない。逆に手間	○明確な経営ビジョン ・大きな電気設備の建設から保全まで任せられる会社 ・電気設備の建設保全でNO1の会社となっている ・電気設備に関する卓越した建設保全技術を持つ ・IT武装工事のパイオニア ○高い顧客満足度。お客様との太いパイプ ○成長企業 ○経営方針が具体化されている ○やりがいのある職場 ○安全・安心・高品質 ○高い業務改善レベル ○従業員満足度NO1	○ビジョン(事業領域/方向性)の検討 ・配電事業の方向性 ・一般向け事業の方向性 ○経営戦略の検討 ・営業戦略 ・人材開発戦略 ・ブランド(社名等) ○改善活動の充実 ・ISOとTPMの展開 ○経営方針の具体化・展開 ○事業体に応じた管理の検討	・キーワード - 設備形成コンサル ・建設/リニューアル - 設備レベル維持サービス ・TPM活動での具体化・展開 ・技術コンサルとしての提案営業 ・管理会計の考え導入
組織	○事業所間の連携が出来ていない ○部門間の連携。要因融通が効率的でない ○人員が適正配置でない ○営業力、機能がない(中長期、一般アビール含む) ○特定部門の利益率が悪い	○強い営業力 ・九電に対して提案営業力が高い会社 ○機能的な組織 ・組織がスリム化されている ・組織部署が設置されている ・業務部門が統合されている ・専門技術が強化組織化されている ○緊急対応ができる体制	○機能組織の検討 ・機能と組織のマッピング ・場所の連携(福岡/佐賀/大牟田) ・業務サポートサービスのあり方 ○緊急時の体制、指示命令系統の検討	・経営戦略スタッフ機能の設置 ・発電電、一般、配電事業 ・業務サポートサービスの設置
設備	○計画的な設備投資が出来ていない。道具が古い ○資機材の在庫管理が出来ていない ○資材工場の調達に手間がかかる。手配状況が分からない ○不明確な仕様で手配依頼され、現場とのやり取りに手間がかかる	○最新の道具 ・最新の道具を持っている	○費用対効果の計画方法の整理 ○マージンやレンタル、共同購買等の検討 ○資機材の調達・管理ルール整備	・発電電、配電との共通管理、共通調達
人材開発/技術	○将来を考えた採用、育成計画がなされていない ○若年層化。今後の人材不足 ○教育、研修がなされていない ・幅員が広い。社外対応が出来ない ・経営管理の教育がなされていない ○人数の割に業務量が多い。現場代理人の仕事が多い ○コア技術が明確でない ○専門技術が継承されていない ○多能工が少ない ○設計・構築能力がない ○事業が低い ・コスト ・安全管理 ・経営参画 ○モラルが低い ・自主管理ができていない ・積極性がない ・スキルが伸びない	○戦略的な人材開発(採用/育成) ・充実した教育 ○高い技術力/サービス力 ・技術継承が図られている ・高い技術力、サービス力がある ・お客様の設備に詳しい ○強いマネジメント力 ・管理職が役割を果たしている ・監督・管理能力がある ・組織人として自主管理できる ○高い従業員意識 ・安全意識が高い ・企業経営の参画意識が高い ○強い現場力	○費用対効果の計画方法の整理 ○マージンやレンタル、共同購買等の検討 ○資機材の調達・管理ルール整備	・専門技術集団機能の設置 ・コーチング技術の導入
制度/ルール	○人事管理が適正でない ・賞与に合わせた人事評価でない ・能力にあった給与体系でない ・九電出身者のコストパフォーマンスが悪い ○業務がマニュアル化されていない ・承認プロセスが曖昧 ○下から意見をあげる仕組みがない	○賞与度に応じた評価 ・賞与度に応じた報酬が与えられる ・正当な評価がなされている		
IT	○IT化されていない ・IT活用の教育がなされていない ・業務状況、収支がリアルタイムに把握できない ○会社の情報共有がなされていない ・コミュニケーション不足	○業務の近代化 ・業務が近代化されている ・現場がIT化されている ○コミュニケーション ・上至下右のコミュニケーションが取れている ○戦略的な社外との連携 ・顧客や協力会社との連携		

【解説】

業務改革を実施するに当たり、解決しなければならない検討課題を明確にします。

事例紹介

中小企業向け「ITを活用した業務改革」ソリューション

◆ITシステム化コンセプト

【システム化のコンセプト】

「IT武装した工事の実現」

— IT based Solution for EPFS —

【テーマ】

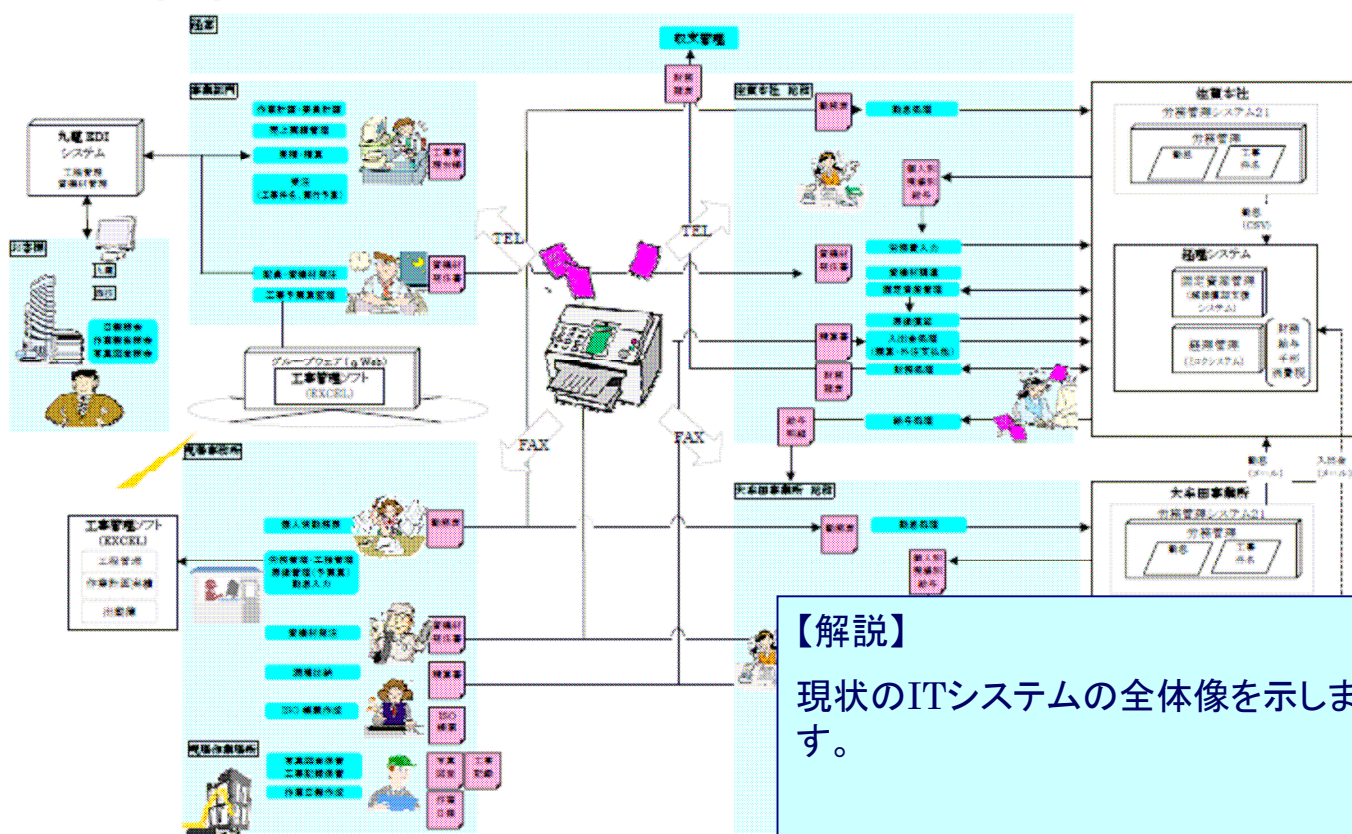
- 現場の徹底支援
 - 煩雑な事務処理からの開放
 - 現場入力による後処理の廃止
 - ISO帳票の自動出力
- 工事監理・管理の支援
 - リアルタイムな工事・原価・資機材状況の把握
 - 全体調整の簡素化
- 強力な社内・社外連携
 - 経理システムの連携。財務の把握
 - 顧客、協力先との社外連携による高付加価値
- ペーパーレス
 - ペーパーレスによるコストの削減

【解説】

業務改革を実施するに当たり、解決しなければならない検討課題を明確にします。

◆システム全体図（現状）

システム全体図【現状】



【解説】

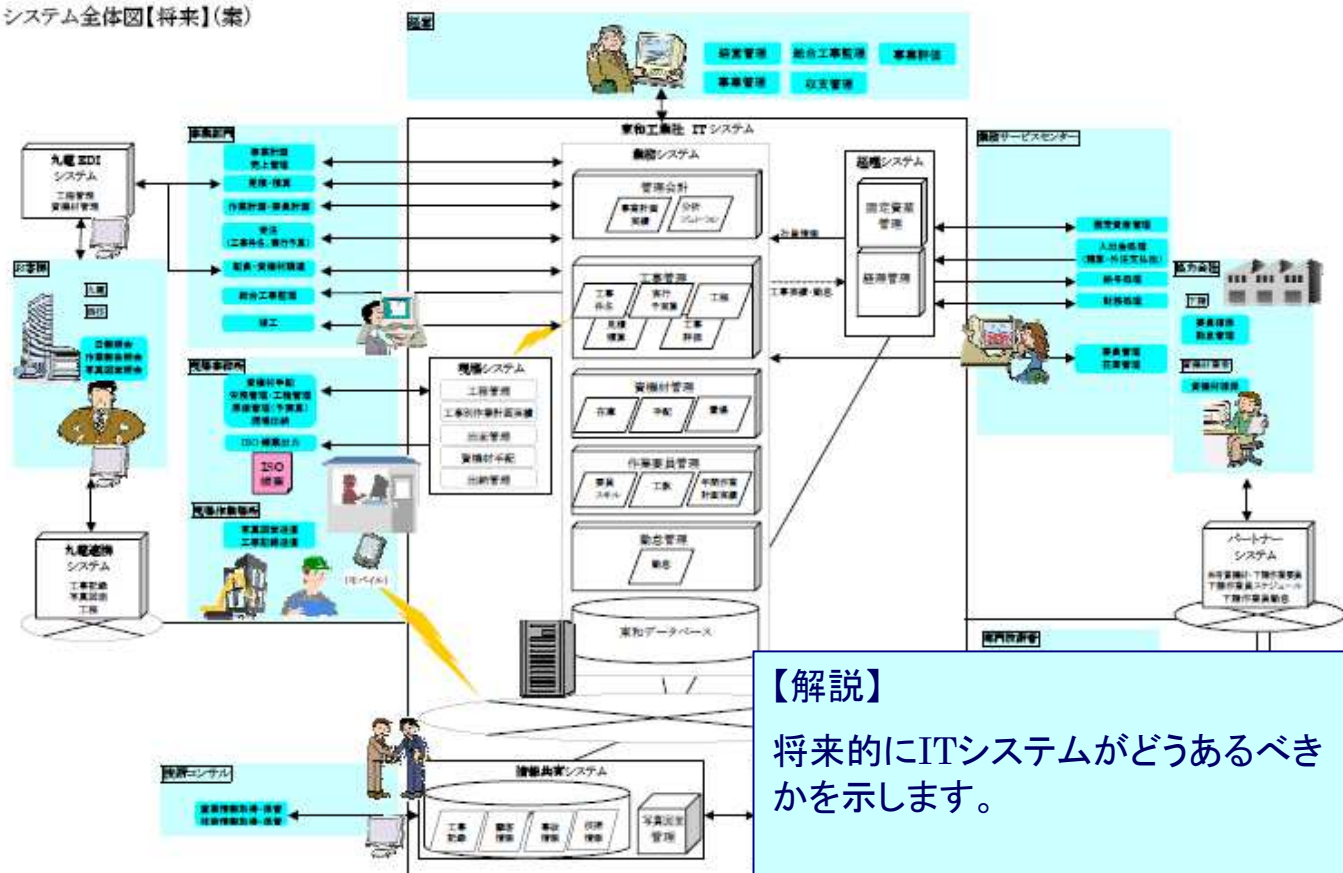
現状のITシステムの全体像を示します。

事例紹介

中小企業向け「ITを活用した業務改革」ソリューション

◆システム全体図（将来）

システム全体図【将来】(案)



【解説】

将来的にITシステムがどうあるべきかを示します。

◆システム実現化ステップ

システム実現化ステップ(案)

		【Step1】現場の改善		【Step2】経営管理の強化		【Step3】ITの戦略的活用 (現場高度化/経営分析/社外連携)	
業務検討事項	現場/事務方	Step1システム仕替換 (現場の改善/現場システム上の連携)		Step2の戦略活用(現場高度化)の検討 (現場入力/業務フロー/事務分析/シミュレーション)		Step3(現場高度化)システム仕替換	
	経営	経営管理強化のための業務検討 (管理会計/工事管理/賃借管理/工事評価)		Step2システム仕替換 Step3(経営分析)業務検討		Step3(経営分析)システム仕替換	
	他社連携	社外連携のビジネスモデル検討/各社間連携 (九電連携/協力会社連携)				Step3(社外連携)システム仕替換	
システム構築	現場システム	出納管理/工事管理(賃借/出納管理/賃借) 出納管理/賃借管理/工事管理(賃借)		工事管理(賃借)		モバイルなどによる現場入力	
	(工事管理)	工事管理/工事管理/工事管理		工事管理		現場・工事・設備情報などの九電との連携	
	(賃借管理)	電気・ガス・水道・暖房の管理		電気・ガス・水道・暖房の管理		電気・ガス・水道・暖房の管理	
	(作業要員管理)	作業要員管理		作業要員管理		作業要員管理	
	(顧客管理)	顧客管理		顧客管理		顧客管理	
	(顧客管理)	顧客管理		顧客管理		顧客管理	
	経営システム	経営管理のための連携/業務システム見直し					
	情報共有システム	Webを活用した情報共有(工事計画/顧客管理/事務管理/設備管理)					
拡張支援システム							
社外連携システム							

【解説】

現状と将来のITシステム像を踏まえ、また業務改革に向けた課題の検討ステップを考慮し、ITシステムの実現化ステップを示します。

その他成果物

- ・業務モデリング図(現状)
- ・業務モデリング図(将来)
- ・IT化効果
- ・報告書(その他提言等)

展 開

組織改革を行い、企業戦略室を設置。業務改革に向けての検討課題推進チームを編成し、課題の検討と、IT化を推進中。(2008年6月現在)

No Will, No Win !

意志が強ければ強いほど
よい結果が生まれる

お問合せ



株式会社 キューキエンジニアリング
Kyuki Engineering Corporation

〒810-0004
福岡県福岡市中央区渡辺通り5丁目14番12号南天神ビル5階
TEL:092-761-2441 FAX:092-761-2524
URL:<http://www.keng.co.jp/>